



令和3年度

「みんなでハピボラ！」

高校生ボランティアリーダー養成事業

活動報告書

- 1 金沢北陵高等学校
- 2 金沢商業高等学校

心の教育推進協議会
(事務局：石川県教育委員会事務局生涯学習課)



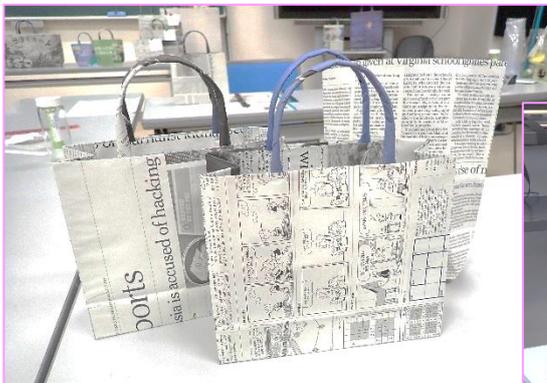
出前講座

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、予定していた
集合研修を中止し、出前講座として実施。

内容：「作って発見！新聞バッグの魅力」

講師：しまんと新聞ばっぐ金沢支部

代表 木津 裕美 氏、副代表 木村 明子 氏



【実施校】

- ◇ 金沢北陵高等学校 9月24日（金） 6名参加
- ◇ 金沢商業高等学校 10月13日（水） 27名参加

令和3年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立金沢北陵高等学校
活 動 名	地域とともに歩む活動「北陵プロジェクト」

1. 養成研修で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

・新聞紙は読み終わったら、捨てるものだと思っていたが、バッグを作るなど活用することができると驚いた。このことをきっかけに、今まで何気なく見ていたものも見方を変えれば、違う活用などできて生活が便利になったり、役に立ったりするのかなと考えることにつながった。

2. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
9月24日	・「新聞紙バッグを作ろう！～作って発見！新聞バッグの魅力～」の出張講座を本校にて行った。
10月18日	・東原ふれあいフェアに向けて、担当の先生と打ち合わせを行う。ここでは、役割分担、配置、企画ブースの内容なども話し合い、全体の動向把握を行う。さらに、ポスターも掲示して来客につながるように周知した。
10月27日	・募金活動に関する打ち合わせを JRC 部、生徒会などを行う。

3. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
5月3日	農業体験とタケノコ掘り	東原町	有志 (11名)
7月11日～	東原町 朝市お手伝い (毎週日曜日)	東原町	JRC 部＋ 商業同好会 ＋有志 (15名)
7月17日～	森本駅前広場朝市「トラック市」 (毎月第3土曜日)	森本駅	JRC 部 (2名)
7月18日	東原町内 草刈りお手伝い	東原町	テニス部 ＋陸上部 ＋有志 (12名)
7月24日	東原町 サマーキャンプ	東原町	有志 (5名)
10月23日	東原ふれあいフェアお手伝い	東原町	有志 (11名)

10月31日	金沢マラソンボランティア	千木町	陸上部＋ サッカー部 (21名)
11月4日	ユニセフ募金活動	校内	JRC部＋ 生徒会 (18名)
11月6日	北陵 AVANTE (学校内外・地域清掃活動)	校内・ 周辺地域	1・3年生 (360人)
(以下予定)	～ (予定) ～		
1月30日	東原町ウインタースクール お手伝い	東原町	有志 (6名)
3月19日	東原町きのこ植菌体験 お手伝い	東原町	有志 (8名)

4. 活動で心に残ったことなど

- ・地域の人たちと関わることで、町の良さや現実、自分の町との比較などができて、自分だけの世界では気づかなかったこと学ぶことができたし、この経験や知識を未来へとつなげていかないといけないと感じた。(守ることや活性化させていくこと)
- ・ボランティア活動をすることによって、地域の方々に喜んでもらえるのが本当に嬉しかった。自分の行動によって人の役に立てる喜びを感じ、活動して良かったと思えるし、これからもこのような活動に参加していきたいと思った。

5. 成果と課題

<成果>

- ・今年度も限られた少ない活動でしたが、数多くの人に参加して、地域活性化に貢献し、自分の世界や知識を広げ、経験を積むことができて良かった。

<課題>

- ・たくさんの活動の計画を立てていたが、コロナウイルスによる影響で延期や中止など活動することができなかつたり、内容もかなり制限されたため、経験を積める活動の場が少なくなったのが残念。延期・中止になった場合、代わりとなる活動を考えたりと自分たちでできることがないかを考えていけるようにしたい。



令和3年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立金沢商業高等学校
活 動 名	「金沢商業高校 しまんと新聞ばっぐづくり」

1. 養成研修で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

- ・令和3年10月16日（土）～17日（日）の2日間開催された「第38回金商デパート」において、来場者に「エコバッグ」を推進する目的を兼ねて、新聞紙で作成した「新聞ばっぐ」を無償で配布した。「新聞ばっぐ」を作る作業から配布までの一連の活動を通じて、インターアクト部員全員の「SDGs」（持続可能な開発目標）への意識が高まり、次年度「第39回金商デパート」では完全に「新聞ばっぐ」を普及させ、プラスチックゴミの削減に向けた努力を今以上にしていきたいと考えています。

2. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
9月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生と打合せ ・「金商デパート」来場者の現状 （従来は買い物袋をすべての商品に配布し、結果的にプラスチックゴミの増加に繋がっていたことを知る）
27日	<ul style="list-style-type: none"> ・10月13日（水）15:50～17:30に「金沢商業高校 しまんと新聞ばっぐづくり」を行うことを決定し、部員全員で打合せを行った

3. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
10月13日	令和3年度「高校生ボランティア養成事業」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「金沢商業高校 しまんと新聞ばっぐづくり」 ・インターアクト部員27名が参加 	金沢商業 高校	26名
14日 15日	前日学んだ「新聞ばっぐ」を部員全員で作成し、「第38回金商デパート」来場者に配布するための準備を行った ※「前期生徒会執行部」の協力も頂いた	金沢商業 高校	42名
16日 17日	「第38回金商デパート」来場者に来場者受付の際、希望した方に無償で「新聞ばっぐ」を配布した ※「前期生徒会執行部」の生徒と合同で行った	金沢商業 高校	42名
18日	振り返りを行うと同時に、次年度「第39回金商デパート」に向けた課題や、「金商デパート」以外でも「新聞ばっぐ」を有効活用できる方法を相談した	金沢商業 高校	26名

4. 活動で心に残ったことなど

昨年度に続き「コロナ禍」で様々なボランティア活動が中止になったり、活動制限を受けるなど制約がある中、活動内容を決めることに行き詰まりを感じていた中で、このような貴重な養成事業の機会を頂き、感謝しています。今回の「金沢商業高校 しまんと新聞ばっぐづくり」を通じて、地域や学校に貢献できたことに、とても達成感を感じることができました。

今回は「新聞ばっぐ」作成という形でボランティア活動をさせて頂く中で、「SDGs」(持続可能な開発目標)達成に向けて、今、私たちが身近に取り組んでいけることは何か?を考える貴重な機会だったと思います。

2年ぶりに開催した「第38回金商デパート」で、プラスチックゴミの削減を実現するために、「レジ袋」の配布を廃止し、代わりに「買い物袋」の持参を来場者に呼びかけると同時に、「新聞ばっぐ」を作成したことで、今後の学校生活でも、生徒の皆さんに「新聞ばっぐ」の認知度を高める足掛かりになればと思いました。

また、金沢東ロータリークラブのご協力もあり、ボランティア活動として、地域清掃や地域行事への参加をさらに積極的に実施していければと思っています。

5. 成果と課題

<成果>

- ・ボランティア活動を通じて「地域での活動」を視野に入れることができた
- ・部活動を通じて作成した「新聞ばっぐ」が、「第38回金商デパート」という学校行事に活かされたこと
- ・「新聞ばっぐ」づくりを通じて、「SDGs」(持続可能な開発目標)への意識が高まった

<課題>

- ・定期考査や検定試験、新型コロナウイルス感染対策への影響もあり、校外でのボランティア活動の日程調整が難しく、今後に向けての課題であることが浮き彫りとなった

